

事業実施報告書

団体名：NPO法人クラブしっきーず

事業名：～中学生は地域の宝！～ しっきーずの“かしわな”レスキュークラブ

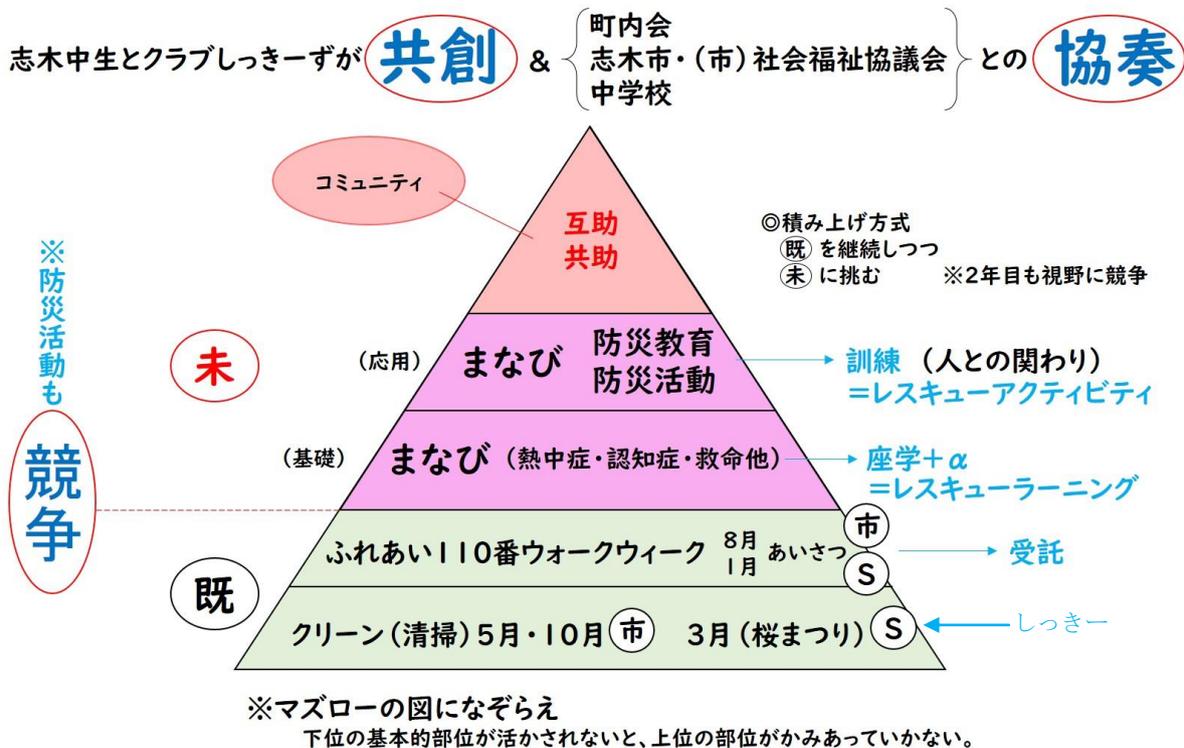
1 事業の目的

- 高齢化した志木のまちで、中学生が防災や地域福祉の担い手として活動できるよう、まなびと実践・経験を積む機会をつくる。
- レスキュー事業を多様な組織、団体と連携・協力して展開することにより顔の見える関係づくり、誰もが安心して暮らせる地域づくりにつなげる。

2 事業内容

(1) 事業の概要

事業の全体図



①レスキューラーニング (まなび基礎部分)

対象：中学生 (学校を通じて広報・希望者)

4分野のレスキュー検定 (ペーパーテスト) を実施し、興味関心・意識の高まりをめざす。

②レスキューアクティビティ (まなび応用部分)

対象：小中学生及び地域住民

防災運動会のイメージで、体験・参加型の色別対抗戦を実施。スポーツ・レクリエーションクラブとして本領をいかに発揮し、楽しみながら学ぶ機会を創出。

(2) 事業の流れ
実施スケジュール

時 期	活 動 事 項	参加者数
2018年6月	● 6/14：クラブ内打合せ	● 8人
2018年7月	● 7/4：レスキュー検定④実施（熱中症） ● 7/31～8/3：ふれあい 110 番ウォークウィーク（志木市世代交流事業としてシニア宅訪問）	● 45人
2018年8月	● 8/9：クラブ内打合せ ● 8/31：小中合同引き渡し訓練（視察・課題抽出）	● 8人 ● 3人
2018年9月	● 9/1：第1回レスキューアクティビティ ● 9/7：レスキュー検定⑤実施（認知症）	● 80人 ● 6人
※7月～12月の間に随時学校と打合せ		● 9人
2018年12月	● 12/13：クラブ内打合せ	● 8人
2019年1月	● 1/10：クラブ内打合せ ● 1/26：第2回レスキューアクティビティ	● 8人 ● 40人
2019年2月	● 学校と打合せ（次年度へ向けて） ● 2/8：レスキュー検定⑥実施（救急・応急処置） ● 2/19：レスキュー検定⑥実施（防災総合） ● 2/28：事業完了	● 6人 ● 36人 ● 38人



(毛布 DE 担架リレー)



(一輪車ブロック運びリレー)



(初期消火訓練)



(リヤカーリレー)

内容	日時	会場
第1回かしわなレスキューアクティビティ	9/1(土)9：00～12：00	志木第三小学校 体育館
第2回かしわなレスキューアクティビティ	1/26(土)9：00～12：00	志木第三小学校 体育館

(3) 連携・協力機関

- 志木中学校（レスキューラーニング実施：4回）
（レスキューアクティビティ参加：2回）
- 志木第三小学校（レスキューアクティビティ 会場提供）
- 志木市防災危機管理課（初期消火訓練）
- 志木市社会福祉協議会
- 高齢者あんしん相談センター柏の杜 } ポスター・チラシによる事業周知・広報、
アクティビティ参加・運営協力
- 柏町域6町内会（城・中野・中道・柏・館・柳瀬川⇒回覧板による周知・広報）
- 民生児童委員
- かしわなほっとぷれす編集委員会（志木市第1期柏町まちづくり委員）

3 成果及び今後の展開

【成 果】

- 中学生が地域活動の現場に姿を見せたことにより、いろいろなシーンで活気が溢れた。
- レスキュー事業を実施するにあたり、学校・市・市社協・町内会など、多様な組織・機関と連携したことにより、当クラブの他の様々な事業においても相乗効果があらわれ、円滑な実施につながった。
- まちづくり会議から誕生した『かしわなほっとぷれす』（3回/年、各6,000部発行）で活動をPRしたことにより、法人の認知度向上や地域の支え合い意識・防災意識の醸成につながった。

【課 題】

顔の見える関係づくりは、引き続き取り組むことで、より構築され则认为る。
また、隣接する他の学区での展開は、今後の課題として残った。

【今後の展開】

2019年度は、志木市において全市的な総合防災訓練が予定されている。そこで、以下の3点について取り組んでいきたい。

- ①9月の実施に向けて開催される検討会議に参画する。
- ②「中学生の参加」も視野に計画を策定中と聞いているので、今回の取り組み及び成果を市へ発信する。
- ③隣接する他の学区における訓練についても、当クラブの実践を活用してもらえるよう、アプローチする。